

アンケート調査結果概要（速報版）

1. 「(仮称) 町田市産業振興計画 19-28」策定に係るアンケート

(1) 今後の業況の見通し、及び今後の事業展開について

(製造業等調査)

- ・今後の業況の見通しについては、「改善する」が 19.4%、「現在の状況が続く」が 42.6%、「悪化する」が 20.2%であった。
- ・今後の事業展開については「拡大する」が 39.5%、「現状維持」が 42.6%、「事業を縮小」が 10.1%であり、前向きな意向が伺える。
- ・なお、今後の成長分野として期待しているものについて複数回答形式でたずねたところ、「第 4 次産業革命」(51.2%)、「健康・ヘルスケア」(31.2%)、「医療機器・航空機部品・新素材」(29.6%)との回答が多かった。

(商業等調査)

- ・今後の業況の見通しについては、「改善する」が 13.8%、「現在の状況が続く」が 36.3%、「悪化する」が 32.5%であり、製造業等調査よりもネガティブな回答の割合が高い。
- ・今後の事業展開については「拡大する」が 18.8%、「現状維持」が 50.0%。「事業を縮小」が 3.8%であった。
- ・なお、社会環境の変化が自社の事業に及ぼす影響について、「高齢化の進行」や「世帯当たり人数の減少」については 5 割程度が「悪い影響がある (5 点満点中 1~2 点と評価)」と回答している。また、「インターネット通販の普及」については「良い影響がある (5 点満点中 5~4 点と評価)」と「悪い影響」との評価がいずれも 3 割程度となっており、脅威と捉えている企業がある一方、チャンスと捉えている企業もあることが伺える。

(2) 事業を継続するうえでの課題

(製造業等調査)

- ・今後事業を継続するうえでの課題を複数回答形式でたずねたところ、回答が多かったのは「人手不足」(47.3%)、「諸経費の増加」(38.8%)、「国内企業との競争激化」(30.2%)、「事業承継・後継者問題」(25.6%)であった。
- ・人材の確保の状況について「求める人材を、必要な人数確保できている」と回答した企業は全体の 24.0%となっており、十分に人材を確保できていない企業が多いことが伺える。また、同じ設問で「能力を問わず、人数の確保ができていない」と回答した企業は 29.5%であった。
- ・また、事業承継について、後継者が決まっているとの回答は 25.6%であり、「継がせたいと思っているが、後継者はまだ決まっていない」との回答が 26.4%であった。

(商業等調査)

- ・今後事業を継続するうえでの課題を複数回答形式でたずねたところ、回答が多かったのは「後継者の確保・育成」(42.5%)、「販売先や取引先の開拓」(41.3%)、「商品やサービスの魅力づくり」(36.3%)、「人材の確保」(35.0%)であった。
- ・また、事業承継について、後継者が決まっているとの回答は 27.5%であり、「継がせたいと思っているが、後継者はまだ決まっていない」との回答が 22.5%であった。

(3) 市内事業者の「チャレンジ」の状況

(製造業等調査)

- ・「チャレンジ」として取り組んでいることについては、「販路開拓」(41.9%)、「人材育成」(34.9%)、「新分野への進出」(31.8%)との回答が多い。
- ・なお、「チャレンジ」を進めていくうえでの課題を複数回答形式でたずねたところ、「専門人材の不足」(37.8%)、「技術・ノウハウの不足」(30.6%)との回答が多かった。

(商業等調査)

- ・「チャレンジ」として取り組んでいることについては、「販路開拓」(36.3%)、「新商品・新サービスの開発」(35.0%)、「人材育成」(28.8%)との回答が多い。
- ・なお、「チャレンジ」を進めていくうえでの課題を複数回答形式でたずねたところ、「専門人材の不足」(21.9%)のほか、「技術・ノウハウの不足」、「資金の調達」、「情報の不足」(いずれも12.5%)との回答が多かった。

(4) 町田市の事業環境について

(製造業等調査)

- ・町田市の事業環境について、「良い」(5点満点中5~4点)と評価した回答者の割合が高い項目は、「交通利便性」(48.1%)、「まちのイメージ」(38.8%)などである。
- ・一方、「悪い」(5点満点中1~2点)と評価した回答者の割合が高い項目は、「研究開発機関の集積度」(56.6%)、「企業の集積度」(51.2%)「人材確保のしやすさ」(31.8%)などである。
- ・また、今後行政からの支援として期待することについて複数回答形式でたずねたところ、「補助金・助成金情報の発信」(47.3%)、「人材採用・育成、多様な働き方に関する支援」(30.2%)、「新商品・サービス・技術開発支援」(25.6%)などの回答が多かった。

(商業等調査)

- ・町田市の事業環境について、「良い」(5点満点中5~4点)と評価した回答者の割合が高い項目は、「交通利便性」(42.5%)、「まちの賑わい」(33.8%)、「まちのイメージ」(22.5%)などである。
- ・一方、「悪い」(5点満点中1~2点)と評価した回答者の割合が高い項目は、「地代・賃料の水準」(46.3%)、「行政からの支援の充実度」(28.8%)、「人材確保のしやすさ」(27.5%)などである。
- ・また、今後行政からの支援として期待することについて複数回答形式でたずねたところ、「補助金・助成金情報の発信」(40.0%)、「資金調達支援」(28.8%)、「販路拡大(他企業とのマッチング、見本市出展等)支援」(26.3%)などの回答が多かった。

2. 消費行動実態調査

(1) 買い物行動

① 買い物をする店舗

食料品	日用品 (掃除・選択用品 ・消耗品等)	衣料品	靴・カバン・アクセサ リーなど
<ul style="list-style-type: none"> ・「(食品中心の) スーパーマーケット」が 61.3%と最も多く、次いで「大型スーパー」が 21.2%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ドラッグストア」が 36.7%と最も多く、次いで「大型スーパー」が 15.1%、「(食品中心の) スーパーマーケット」が 14.2%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ショッピングモール」が 23.0%と最も多いが、次点の「大型スーパー」(22.5%)とほぼ並んでいる。次いで「大型店」が 14.8%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ショッピングモール」が 23.9%と最も多く、次いで「百貨店」が 18.3%、「ネット通販」が 15.6%であった。
書籍・CD など	電化製品 (家電・パソコン等)	家具	
<ul style="list-style-type: none"> ・「ネット通販」が 37.6%と最も多く、次いで「一般小売店」が 14.2%であった。他の商品と比べ、「ネット通販」が強い分野であることが伺える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「大型店」が 61.9%と最も多く、次いで「ネット通販」が 19.6%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「大型店」が 34.0%と最も多く、次いで「ホームセンター」が 27.4%、「ネット通販」が 13.9%であった。 	

② 買い物行動の変化

- ・買い物行動の変化について、「実際の店舗より、ネット通販を利用することが増えている」という項目については、「あてはまる (5点満点中の5~4点)」が 36.7%、「あてはまらない (5点満点中の1~2点)」が 32.0%であった。
- ・「食料品や日用品等を、まとめ買いするようになっている」という項目については、「あてはまる」が 37.9%、「あてはまらない」が 23.2%であった。
- ・「冷凍食品やお惣菜等、すぐ食べられるものを買うことが多くなっている」という項目については、「あてはまる」が 27.2%、「あてはまらない」が 30.5%であった。
- ・「新品を購入するより、中古品やアウトレット品を購入することが多くなっている」については、「あてはまる」が 14.2%、「あてはまらない」が 52.1%であった。
- ・「お店でものをかう時、クレジットカードや電子マネー (Suica 等) で支払いをすることが増えている」という項目については、「あてはまる」が 43.6%、「あてはまらない」が 25.4%であった。

③ 町田駅周辺の商業施設の利用状況

- ・町田駅周辺の百貨店・大型店 (小田急百貨店、東急ツインズなど) の利用頻度について、数年前と比較して変化があったかどうかたずねたところ、「あまり変化はない」が 56.3%であった。なお、「増加した (大きく増加した) とやや増加した」の合計は 8.5%であるのに対し、「減少した (大きく減少した) とやや減少した」の合計は 30.1%であった。

④商店街の利用状況

- ・最寄りの商店街の利用状況について、「よく利用している」が13.1%、「ときどき利用している」が27.9%であった。
- ・商店街の魅力向上に必要なことについては、「店の種類が増える」(50.4%)、「そこでしか買えない商品やサービスがある」(31.5%)、「個性的な新しい店が増える」(27.2%)などの回答が多い。

⑤ネット通販の利用状況

- ・ネット通販の利用頻度については、「月に1回程度」が28.6%と最も多く、次いで「年に数回程度」が22.5%、「2～3週間に1回程度」が21.5%であった。なお、「まったく利用していない」との回答は7.4%であった。
- ・ネット通販で購入したことのあるものとして、「食料品」、「日用品」、「衣料品」、「靴・カバン・アクセサリー等」、「書籍・CD等」、「電化製品」についてはいずれも5～6割が「購入したことがある」回答しているのに対し、「家具」については30.0%であり、他の商品よりも割合が低い。
- ・ネット通販の年間利用額については、5万円未満が52.4%、5～10万円未満が19.8%、10～20万円未満が13.3%、20万円以上が14.4%となっている。

(2) 町田駅周辺のイメージ

- ・町田駅周辺のイメージについて、「買いたいものが買えるまちである」、「食事や喫茶を楽しめるまちである」といった項目については「あてはまる(5点満点中の5～4点)」との回答が5割を超えている。また、「歩いて楽しい街である」については「あてはまる」との回答が37.6%であった。
- ・一方、「あてはまる」との回答割合が「安全・安心なまちである」については30.2%、「娯楽・レジャーを楽しめるまちである」については、26.0%であり、5つの項目の中では低い値となっている。